

# テンプレトン世界債券ファンド

限定為替ヘッジコース

為替ヘッジなしコース

毎月分配型・為替ヘッジなしコース

(愛称：地球号)

限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコース

第21期(決算日 2021年6月21日)

毎月分配型・為替ヘッジなしコース

第120期(決算日 2021年1月20日)

第121期(決算日 2021年2月22日)

第122期(決算日 2021年3月22日)

第123期(決算日 2021年4月20日)

第124期(決算日 2021年5月20日)

第125期(決算日 2021年6月21日)

## 運用報告書(全体版)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「テンプレトン世界債券ファンド」は2021年6月21日に決算(限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコースは第21期、毎月分配型・為替ヘッジなしコースは第125期)を行いました。ここに、限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコースの第21期、毎月分配型・為替ヘッジなしコースの第120期から第125期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



# FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社  
(旧フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ株式会社)  
東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

〈お問い合わせ先〉

電話番号：03-5219-5947

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、世界各国(新興国を含む)の国債および政府機関債等に実質的な投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主な投資対象	主として、以下の外国投資証券および投資信託受益証券に投資を行います。 「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド(ルクセンブルク籍投資法人)」 「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」
組入制限	投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコースは毎年6月および12月の20日(休業日の場合は翌営業日)、毎月分配型・為替ヘッジなしコースは毎月20日(休業日の場合は翌営業日))に、基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。 分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 なお、毎月分配型・為替ヘッジなしコースは6月および12月以外の月の決算時の分配については、原則として配当等収益を中心とするものとします。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 目 次

<b>テンプレートン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース</b> .....	<b>1</b>
最近5期の運用実績、当期中の基準価額の推移 .....	1
運用経過 .....	2
1万口当たりの費用明細 .....	7
売買及び取引の状況、利害関係人との取引状況等、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況、組入資産の明細 .....	9
投資信託財産の構成 .....	10
資産、負債、元本及び基準価額の状況、損益の状況 .....	11
分配金のお知らせ .....	12
<b>テンプレートン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース</b> .....	<b>13</b>
最近5期の運用実績、当期中の基準価額の推移 .....	13
運用経過 .....	14
1万口当たりの費用明細 .....	19
売買及び取引の状況、利害関係人との取引状況等、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況、組入資産の明細 .....	21
投資信託財産の構成 .....	22
資産、負債、元本及び基準価額の状況、損益の状況 .....	23
分配金のお知らせ .....	24
<b>テンプレートン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース</b> .....	<b>25</b>
最近30期の運用実績 .....	25
当作成期中の基準価額の推移 .....	26
運用経過 .....	27
1万口当たりの費用明細 .....	32
売買及び取引の状況、利害関係人との取引状況等、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況、組入資産の明細 .....	34
投資信託財産の構成、資産、負債、元本及び基準価額の状況 .....	35
損益の状況 .....	36
分配金のお知らせ .....	38
<b>投資対象ファンド</b> .....	<b>39</b>
フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グローバル・ボンド・ファンドの運用状況について .....	39
日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）の運用状況について .....	45

## テンブルトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落 率		
	円		円	%	百万円
17期(2019年6月20日)	11,002		10	1.3	5,043
18期(2019年12月20日)	10,478		10	△4.7	4,543
19期(2020年6月22日)	10,015		10	△4.3	4,222
20期(2020年12月21日)	9,955		10	△0.5	3,981
21期(2021年6月21日)	9,665		10	△2.8	3,779

(注) 基準価額（1万円当たり）の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

(注) 投資信託証券組入比率は、純資産総額に対する比率です。

### ○当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)			%	%
2020年12月21日		9,955	—	99.0
12月末		9,942	△0.1	98.5
2021年1月末		9,907	△0.5	98.7
2月末		9,829	△1.3	99.0
3月末		9,673	△2.8	99.1
4月末		9,758	△2.0	99.0
5月末		9,752	△2.0	99.2
(期 末)				
2021年6月21日		9,675	△2.8	98.6

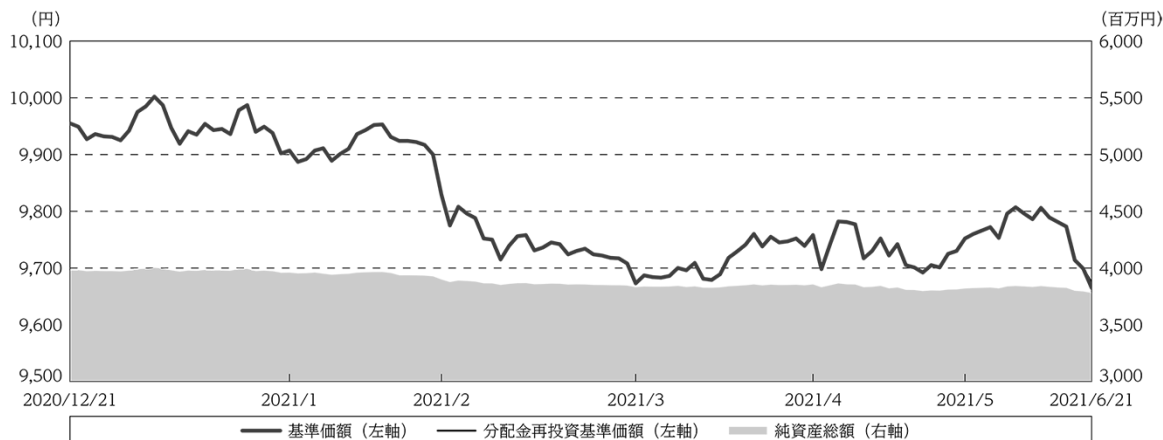
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○運用経過

(2020年12月22日～2021年6月21日)

### 期中の基準価額等の推移



期 首：9,950円

期 末：9,665円 (既払分配金(税込み):10円)

騰落率：△ 2.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年12月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

### ○基準価額の主な変動要因

主な投資対象ファンドである「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンダーテンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」(以下、テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドといいます。)の円建て外国投資証券「Class I (Mdis) JPY-H1」(以下、JPY限定為替ヘッジ・クラスといいます。)の分配金再投資基準価額が値下がりしたことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等からのインカムゲイン
- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等の価格変動
- ・投資を行っている先進国通貨および新興国通貨の対米ドルの価格変動
- ・米ドル売り円買いの為替予約取引等による為替ヘッジコスト

## 投資環境

### (債券市場)

当期の米国債券市場は、中長期債を中心に利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、新型コロナウイルスのワクチンが実用化されるとの期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことから、利回りは上昇しました。また、バイデン新政権による追加景気対策に対する期待により、国債増発の観測が広がったことから、利回りの上昇が続きました。

期の半ばは、ワクチン普及による経済活動の正常化や景気回復による物価上昇の可能性が意識されたことなどから、利回りは下支えされました。

期の後半は、足元のインフレは一時的との見方などから利回りは低下（価格は上昇）する場面もありましたが、2021年6月の米連邦公開市場委員会（FOMC）がタカ派的と受け止められたことなどから利回りの低下は限定的となりました。

欧州債券市場は、中長期債を中心に利回りが上昇しました。

期の前半は、概ね一進一退の展開となりましたが、新型コロナウイルスのワクチン実用化による世界景気の回復期待が広がり、投資家のリスク回避姿勢が後退する場面でも利回りは上昇しました。

期の半ばは、バイデン政権の景気対策効果に対する期待などから米国債利回りが上昇した影響で、ドイツの国債利回りも上昇しました。

期の後半は、欧米各国などでのワクチン接種の進展により、引き続き世界景気の回復期待が広がったことなどが、利回りを下支えしました。

新興国債券の利回りは、新型コロナウイルスのワクチンへの期待と主要先進国債券の利回りが上昇したことから、利回りは全般に上昇しました。

### (外国為替市場)

当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和策の長期化観測が広がる中、米ドル売り・円買いが優勢となりました。その後、米国債利回りが上昇し、日米金利差の拡大が意識されたことから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、米国債利回りが上昇基調で推移し、日米金利差が拡大したことから、米ドルは対円で上昇しましたが、その後FRBによる金融緩和策の長期化が改めて意識されたことなどから、米ドル売り・円買いが一時優勢となる局面がみられました。

期の後半は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展による米国景気の回復期待が高まる中、米ドルは底堅い動きとなりました。

# FRANKLIN TEMPLETON®

当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、一進一退の動きとなりましたが、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばから後半にかけては、欧州主要国でワクチンの普及が加速し、景気の回復期待が広がったことなどから、ユーロは対円で上昇しましたが、2021年6月のFOMCがタカ派的と受け止められ、米ドルが対ユーロで上昇したことなどから、期末にかけてユーロは対円で下落しました。

新興国通貨は、対円で概ね上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(テンプレトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース)

「テンプレトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」を高位に組み入れました。また、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」受益証券への投資も行いました。

(投資対象ファンド：テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス)

<国・地域配分>

主な国・地域別配分については、韓国、インドネシア、ノルウェー、メキシコ、日本などへ投資しました。

<通貨別配分>

主な通貨別配分については、米ドル、韓国ウォン、円を買建する一方で、ユーロなどを売建しました。

<信用格付別配分>

主な配分については、投資適格債を中心に、非投資適格債も一部組み入れました。

なお、「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」において、ポートフォリオの通貨配分にかかわらず、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り・円買いの為替予約取引等により、対円での為替ヘッジを行ないました。

(2021年5月末時点)

(投資対象ファンド：日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定))

主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し信託財産の安定的な成長を目指して安定運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載しておりません。

## 分配金

当期の収益分配につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して次表の通りとさせていただきます。  
なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第21期
	2020年12月22日～ 2021年6月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.103%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,327

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### (テンプルトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース)

「テンプルトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」および「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」へ投資を行います。「テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」への投資比率は高位を維持する方針です。

#### (投資対象ファンド：テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス)

##### ○市場見通し(2021年5月末時点)

新型コロナウイルス向けワクチン接種の普及が世界各地に広がることで、経済状況も引き続き回復に向かうと考えています。人々の活動が再開し始めることで、経済活動も2021年下半期に活発化すると期待しています。新型コロナウイルスの抑制状況は国によって異なるため景気回復の状況もまちまちになると思われますが、引き続きアジア諸国がグローバル経済の回復をけん引し、出遅れていた米国経済についても急回復が予想されます。

運用チームでは2021年の世界経済の成長率は6%程度となり、新興国市場の成長率が先進国市場を上回ると予想しています。世界の国内総生産(GDP)成長率は2022年、2023年と緩やかになる可能性が高いものの、コロナ禍から景気が正常のペースに戻る中、世界経済の成長率は過去10年の平均もしくは平均を上回る水準で推移すると考えます。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○運用方針

基本戦略においては、ポートフォリオのデュレーションは短めに維持します。強固なファンダメンタルズを有し、魅力的なリスク調整後の利回りを有する国の現地通貨建ての債券や一部の先進国の債券を中心に選別的に保有します。なかでも韓国、インドネシアなどの現地通貨建て債券を保有しています。また、通貨では、韓国ウォン、円、人民元、ノルウェークローネ、米ドルなどをロングとし、ユーロをショートとしています。

新型コロナウイルス向けワクチンが普及することで経済活動の回復が期待されることから、特にアジア諸国について前向きな見通しを持っています。今後もマクロ経済のファンダメンタルズやE S G要因を精査し、中長期的に投資妙味がある国の発掘に努めてまいります。

## (投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）)

今後も引き続き、主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年12月22日～2021年6月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 52	% 0.535	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(11)	(0.110)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(40)	(0.411)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.014)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.004	(b) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]}$
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.004)	その他費用 ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.539	
期中の平均基準価額は、9,810円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

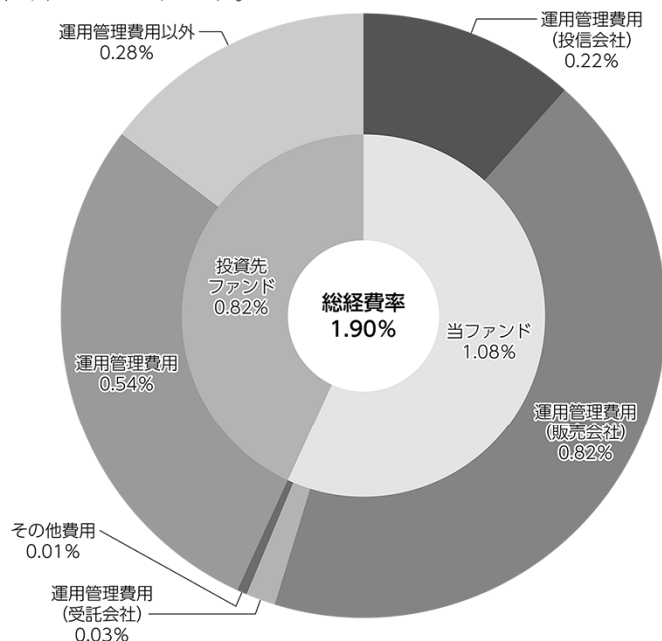
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.90
①当ファンドの費用の比率	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年12月22日～2021年6月21日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY-H1	150,967	105,905	177,090	124,000

(注) 金額は受渡し代金です。  
(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2020年12月22日～2021年6月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年12月22日～2021年6月21日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年6月21日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)		2,703,566	2,703,566	2,848	0.1
フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY-H1		5,458,309	5,432,186	3,724,524	98.5
合 計		8,161,875	8,135,752	3,727,372	98.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。  
(注) 単位未満は切捨てです。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○投資信託財産の構成

(2021年6月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,848	% 0.1
投資証券	3,724,524	97.8
コール・ローン等、その他	80,211	2.1
投資信託財産総額	3,807,583	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年6月21日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	3,807,583,704
コール・ローン等	80,211,299
投資信託受益証券(評価額)	2,848,206
投資証券(評価額)	3,724,524,199
(B) 負債	27,629,444
未払収益分配金	3,911,037
未払解約金	2,779,239
未払信託報酬	20,789,773
未払利息	219
その他未払費用	149,176
(C) 純資産総額(A-B)	3,779,954,260
元本	3,911,037,581
次期繰越損益金	△ 131,083,321
(D) 受益権総口数	3,911,037,581口
1万口当たり基準価額(C/D)	9.665円

○損益の状況 (2020年12月22日～2021年6月21日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	104,541,361
受取配当金	104,566,529
支払利息	△ 25,168
(B) 有価証券売買損益	△ 192,920,309
売買益	2,827,684
売買損	△ 195,747,993
(C) 信託報酬等	△ 20,938,949
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 109,317,897
(E) 前期繰越損益金	△ 351,019,396
(F) 追加信託差損益金	333,165,009
(配当等相当額)	( 629,618,875)
(売買損益相当額)	(△ 296,453,866)
(G) 計(D+E+F)	△ 127,172,284
(H) 収益分配金	△ 3,911,037
次期繰越損益金(G+H)	△ 131,083,321
追加信託差損益金	333,165,009
(配当等相当額)	( 629,618,875)
(売買損益相当額)	(△ 296,453,866)
分配準備積立金	1,062,858,364
繰越損益金	△1,527,106,694

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- 期首元本額は3,999,587,277円、期中追加設定元本額は16,908,211円、期中一部解約元本額は105,457,907円です。
- 貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は131,083,321円です。
- 期末における1口当たり純資産額は0.9665円です。

(分配金の計算過程)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(83,602,412円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(629,618,875円)及び分配準備積立金(983,166,989円)より、分配対象収益は、1,696,388,276円(1万口当たり4,337円)であり、うち3,911,037円(1万口当たり10円)を分配金額としております。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## <お知らせ>

フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社は、2021年4月1日にレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社と合併し、フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。  
(2021年4月1日付)

## テンプルトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落 率		
	円		円		百万円
17期(2019年6月20日)	15,190		10	△1.2	4,776
18期(2019年12月20日)	14,830		10	△2.3	4,452
19期(2020年6月22日)	14,006		10	△5.5	3,915
20期(2020年12月21日)	13,514		10	△3.4	3,466
21期(2021年6月21日)	14,017		10	3.8	3,300

(注) 基準価額（1万円当たり）の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

(注) 投資信託証券組入比率は、純資産総額に対する比率です。

## ○当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)				
2020年12月21日	円		%	%
		13,514	—	98.9
12月末		13,533	0.1	98.2
2021年1月末		13,583	0.5	99.1
2月末		13,734	1.6	99.0
3月末		14,038	3.9	99.0
4月末		13,981	3.5	99.4
5月末		14,097	4.3	99.3
(期 末)				
2021年6月21日		14,027	3.8	98.6

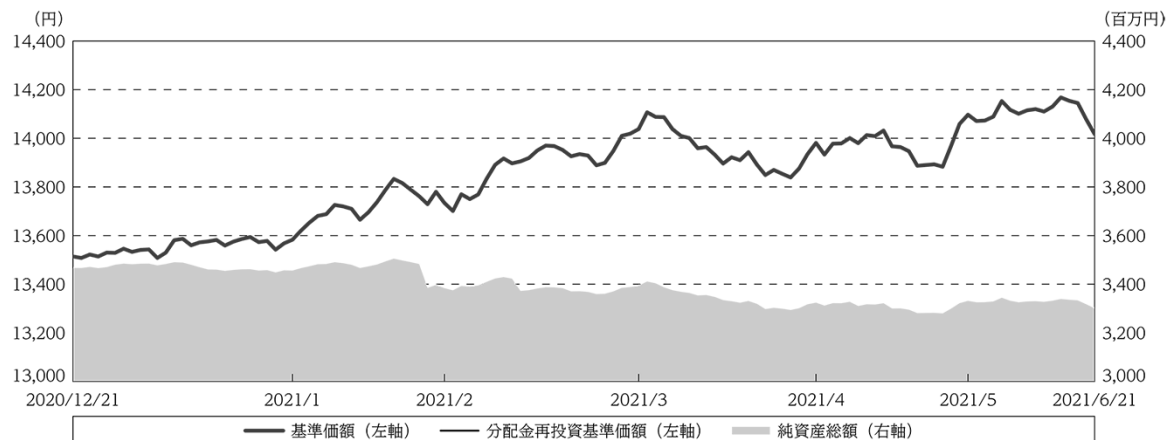
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○運用経過

(2020年12月22日～2021年6月21日)

### 期中の基準価額等の推移



期 首：13,514円

期 末：14,017円 (既払分配金(税込み):10円)

騰落率： 3.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年12月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

### ○基準価額の主な変動要因

主な投資対象ファンドである「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンダーテンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」(以下、テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドといいます。)の円建て外国投資証券「Class I (Mdis) JPY」(以下、JPYクラスといいます。)の分配金再投資基準価額が値上がりしたことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。



なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等からのインカムゲイン
- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等の価格変動
- ・投資を行っている先進国通貨および新興国通貨の対米ドルの価格変動

## 投資環境

### (債券市場)

当期の米国債券市場は、中長期債を中心に利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、新型コロナウイルスのワクチンが実用化されるとの期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことから、利回りは上昇しました。また、バイデン新政権による追加景気対策に対する期待により、国債増発の観測が広がったことから、利回りの上昇が続きました。

期の半ばは、ワクチン普及による経済活動の正常化や景気回復による物価上昇の可能性が意識されたことなどから、利回りは下支えされました。

期の後半は、足元のインフレは一時的との見方などから利回りは低下（価格は上昇）する場面もありましたが、2021年6月の米連邦公開市場委員会（FOMC）がタカ派的と受け止められたことなどから利回りの低下は限定的となりました。

欧州債券市場は、中長期債を中心に利回りが上昇しました。

期の前半は、概ね一進一退の展開となりましたが、新型コロナウイルスのワクチン実用化による世界景気の回復期待が広がり、投資家のリスク回避姿勢が後退する場面でも利回りは上昇しました。

期の半ばは、バイデン政権の景気対策効果に対する期待などから米国債利回りが上昇した影響で、ドイツの国債利回りも上昇しました。

期の後半は、欧米各国などでのワクチン接種の進展により、引き続き世界景気の回復期待が広がったことなどが、利回りを下支えしました。

新興国債券の利回りは、新型コロナウイルスのワクチンへの期待と主要先進国債券の利回りが上昇したことから、利回りは全般に上昇しました。

### (外国為替市場)

当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和策の長期化観測が広がる中、米ドル売り・円買いが優勢となりました。その後、米国債利回りが上昇し、日米金利差の拡大が意識されたことから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、米国債利回りが上昇基調で推移し、日米金利差が拡大したことから、米ドルは対円で上昇しましたが、その後FRBによる金融緩和策の長期化が改めて意識されたことなどから、米ドル売り・円買いが一時優勢となる局面がみられました。

期の後半は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展による米国景気の回復期待が高まる中、米ドルは底堅い動きとなりました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

# FRANKLIN TEMPLETON®

期の前半は、一進一退の動きとなりましたが、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばから後半にかけては、欧州主要国でワクチンの普及が加速し、景気の回復期待が広がったことなどから、ユーロは対円で上昇しましたが、2021年6月のFOMCがタカ派的と受け止められ、米ドルが対ユーロで上昇したことなどから、期末にかけてユーロは対円で下落しました。

新興国通貨は、対円で概ね上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(テンプレート世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース)

「テンプレート世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレート・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」を高位に組み入れました。また、「日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）」受益証券への投資も行いました。

(投資対象ファンド：テンプレート・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

<国・地域配分>

主な国・地域別配分については、韓国、インドネシア、ノルウェー、メキシコ、日本などへ投資しました。

<通貨別配分>

主な通貨別配分については、米ドル、韓国ウォン、円などを買建する一方で、ユーロなどを売建しました。

<信用格付別配分>

主な配分については、投資適格債を中心に、非投資適格債も一部組み入れました。

(2021年5月末時点)

(投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）)

主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し信託財産の安定的な成長を目指して安定運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載していません。

## 分配金

当期の収益分配につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して次表の通りとさせていただきます。  
なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第21期
	2020年12月22日～ 2021年6月21日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.071%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,912

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### (テンブルトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース)

「テンブルトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」および「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」へ投資を行います。「テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」への投資比率は高位を維持する方針です。

#### (投資対象ファンド：テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

##### ○市場見通し(2021年5月末時点)

新型コロナウイルス向けワクチン接種の普及が世界各地に広がることで、経済状況も引き続き回復に向かうと考えています。人々の活動が再開し始めることで、経済活動も2021年下半期に活発化すると期待しています。新型コロナウイルスの抑制状況は国によって異なるため景気回復の状況もまちまちになると思われますが、引き続きアジア諸国がグローバル経済の回復をけん引し、出遅れていた米国経済についても急回復が予想されます。

運用チームでは2021年の世界経済の成長率は6%程度となり、新興国市場の成長率が先進国市場を上回ると予想しています。世界の国内総生産(GDP)成長率は2022年、2023年と緩やかになる可能性が高いものの、コロナ禍から景気が正常のペースに戻る中、世界経済の成長率は過去10年の平均もしくは平均を上回る水準で推移すると考えます。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○運用方針

基本戦略においては、ポートフォリオのデュレーションは短めに維持します。強固なファンダメンタルズを有し、魅力的なリスク調整後の利回りを有する国の現地通貨建ての債券や一部の先進国の債券を中心に選別的に保有します。なかでも韓国、インドネシアなどの現地通貨建て債券を保有しています。また、通貨では、韓国ウォン、円、人民元、ノルウェークローネ、米ドルなどをロングとし、ユーロをショートとしています。

新型コロナウイルス向けワクチンが普及することで経済活動の回復が期待されることから、特にアジア諸国について前向きな見通しを持っています。今後もマクロ経済のファンダメンタルズやE S G要因を精査し、中長期的に投資妙味がある国の発掘に努めてまいります。

## (投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）)

今後も引き続き、主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年12月22日～2021年6月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 74	% 0.535	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(15)	(0.110)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(57)	(0.411)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.014)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.004	(b) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]}$
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.004)	その他費用 ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	75	0.539	
期中の平均基準価額は、13,827円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

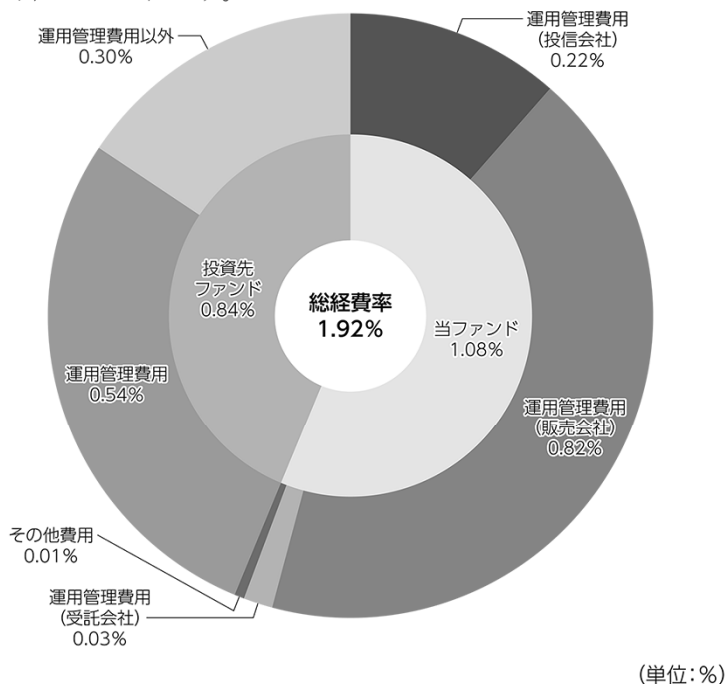
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率(①+②+③)	1.92
①当ファンドの費用の比率	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.30

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年12月22日～2021年6月21日)

### 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY	94,069	91,513	327,653	319,000

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年12月22日～2021年6月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年12月22日～2021年6月21日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2021年6月21日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		比 率
		口 数	口 数	評 価 額	
日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)		11,202,737	11,202,737	11,802	0.4
フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY		3,551,498	3,317,915	3,243,925	98.3
合 計		14,754,235	14,520,652	3,255,727	98.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨てです。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○投資信託財産の構成

(2021年6月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 11,802	% 0.4
投資証券	3,243,925	97.6
コール・ローン等、その他	69,246	2.0
投資信託財産総額	3,324,973	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年6月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,324,973,716
コール・ローン等	69,246,011
投資信託受益証券(評価額)	11,802,083
投資証券(評価額)	3,243,925,622
(B) 負債	24,185,464
未払収益分配金	2,354,851
未払解約金	3,564,704
未払信託報酬	18,135,598
未払利息	189
その他未払費用	130,122
(C) 純資産総額(A-B)	3,300,788,252
元本	2,354,851,206
次期繰越損益金	945,937,046
(D) 受益権総口数	2,354,851,206口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,017円

○損益の状況 (2020年12月22日～2021年6月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	87,551,251
受取配当金	87,574,576
支払利息	△ 23,325
(B) 有価証券売買損益	50,183,378
売買益	54,509,071
売買損	△ 4,325,693
(C) 信託報酬等	△ 18,265,720
(D) 当期損益金(A+B+C)	119,468,909
(E) 前期繰越損益金	△ 199,928,173
(F) 追加信託差損益金	1,028,751,161
(配当等相当額)	( 854,442,586)
(売買損益相当額)	( 174,308,575)
(G) 計(D+E+F)	948,291,897
(H) 収益分配金	△ 2,354,851
次期繰越損益金(G+H)	945,937,046
追加信託差損益金	1,028,751,161
(配当等相当額)	( 854,442,586)
(売買損益相当額)	( 174,308,575)
分配準備積立金	1,244,427,466
繰越損益金	△1,327,241,581

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 期首元本額2,565,163,120円、期中追加設定元本額は51,871,894円、期中一部解約元本額は262,183,808円です。  
(2) 期末における1口当たり純資産額は1.4017円です。

(分配金の計算過程)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(75,939,733円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(854,442,586円)及び分配準備積立金(1,170,842,584円)より、分配対象収益は、2,101,224,903円(1万口当たり8,922円)であり、うち2,354,851円(1万口当たり10円)を分配金額としております。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## <お知らせ>

フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社は、2021年4月1日にレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社と合併し、フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。  
(2021年4月1日付)

テンブルトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落		
	円		円		%	百万円
96期(2019年1月21日)	12,593		50	△0.5	98.7	632
97期(2019年2月20日)	12,686		50	1.1	98.6	373
98期(2019年3月20日)	12,783		50	1.2	98.7	374
99期(2019年4月22日)	12,859		50	1.0	98.6	375
100期(2019年5月20日)	12,353		50	△3.5	98.4	344
101期(2019年6月20日)	12,225		50	△0.6	98.7	344
102期(2019年7月22日)	12,320		50	1.2	98.7	297
103期(2019年8月20日)	11,624		50	△5.2	98.8	272
104期(2019年9月20日)	11,629		50	0.5	98.9	269
105期(2019年10月21日)	11,591		50	0.1	98.8	267
106期(2019年11月20日)	11,563		50	0.2	98.8	266
107期(2019年12月20日)	11,660		50	1.3	98.9	251
108期(2020年1月20日)	11,748		50	1.2	98.7	252
109期(2020年2月20日)	11,768		50	0.6	98.7	252
110期(2020年3月23日)	11,188		50	△4.5	99.0	233
111期(2020年4月20日)	10,858		50	△2.5	98.8	225
112期(2020年5月20日)	10,836		50	0.3	98.7	225
113期(2020年6月22日)	10,738		50	△0.4	98.9	206
114期(2020年7月20日)	10,650		50	△0.4	99.0	204
115期(2020年8月20日)	10,481		25	△1.4	98.6	199
116期(2020年9月23日)	10,351		25	△1.0	98.9	190
117期(2020年10月20日)	10,341		25	0.1	98.7	190
118期(2020年11月20日)	10,259		25	△0.6	98.2	162
119期(2020年12月21日)	10,197		25	△0.4	98.0	147
120期(2021年1月20日)	10,217		25	0.4	98.3	147
121期(2021年2月22日)	10,332		25	1.4	98.5	149
122期(2021年3月22日)	10,437		25	1.3	98.8	150
123期(2021年4月20日)	10,380		25	△0.3	98.4	150
124期(2021年5月20日)	10,396		25	0.4	97.4	144
125期(2021年6月21日)	10,429		25	0.6	97.8	144

(注) 基準価額(1万円当たり)の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

(注) 投資信託証券組入比率は、純資産総額に対する比率です。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○当作成期中の基準価額の推移

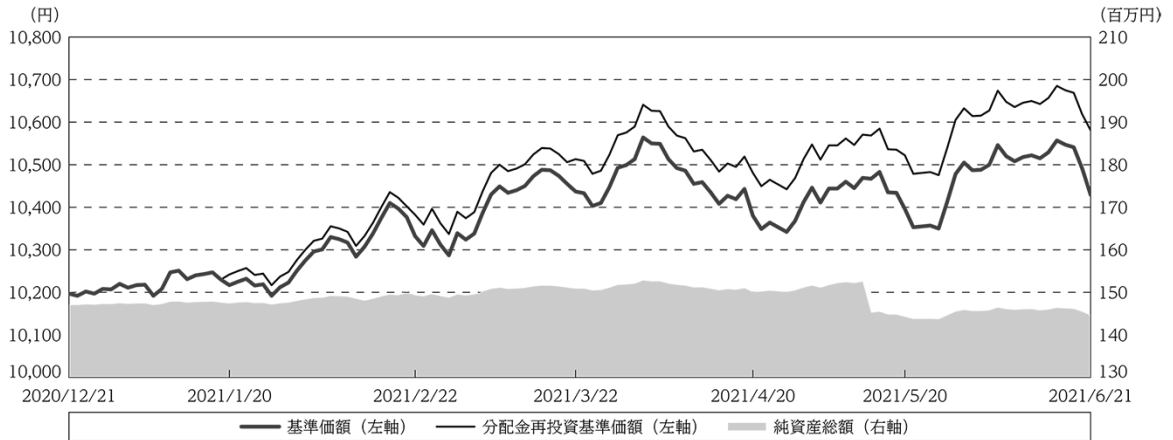
決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 入 比 率
			騰 落 率	率	
第120期	(期 首) 2020年12月21日	円		%	%
		10,197		—	98.0
	12月末	10,211		0.1	98.0
第121期	(期 末) 2021年1月20日	10,242		0.4	98.3
	(期 首) 2021年1月20日	10,217		—	98.3
	1月末	10,223		0.1	98.2
第122期	(期 末) 2021年2月22日	10,357		1.4	98.5
	(期 首) 2021年2月22日	10,332		—	98.5
	2月末	10,312		△0.2	98.4
第123期	(期 末) 2021年3月22日	10,462		1.3	98.8
	(期 首) 2021年3月22日	10,437		—	98.8
	3月末	10,513		0.7	98.1
第124期	(期 末) 2021年4月20日	10,405		△0.3	98.4
	(期 首) 2021年4月20日	10,380		—	98.4
	4月末	10,446		0.6	98.1
第125期	(期 末) 2021年5月20日	10,421		0.4	97.4
	(期 首) 2021年5月20日	10,396		—	97.4
	5月末	10,505		1.0	97.4
	(期 末) 2021年6月21日	10,454		0.6	97.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年12月22日～2021年6月21日)

作成期間中の基準価額等の推移



第120期首：10,197円

第125期末：10,429円 (既払分配金(税込み)：150円)

騰落率： 3.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年12月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

○基準価額の主な変動要因

主な投資対象ファンドである「フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーテンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド」(以下、テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドといいます。)の円建て外国投資証券「Class I (Mdis) JPY」(以下、JPYクラスといいます。)の分配金再投資基準価額が値上がりしたことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。

# FRANKLIN TEMPLETON®

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等からのインカムゲイン
- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等の価格変動
- ・投資を行っている先進国通貨および新興国通貨の対米ドルの価格変動

## 投資環境

### (債券市場)

当作成期の米国債券市場は、中長期債を中心に利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、新型コロナウイルスのワクチンが実用化されるとの期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことから、利回りは上昇しました。また、バイデン新政権による追加景気対策に対する期待により、国債増発の観測が広がったことから、利回りの上昇が続きました。

期の半ばは、ワクチン普及による経済活動の正常化や景気回復による物価上昇の可能性が意識されたことなどから、利回りは下支えされました。

期の後半は、足元のインフレは一時的との見方などから利回りは低下（価格は上昇）する場面もありましたが、2021年6月の米連邦公開市場委員会（FOMC）がタカ派的と受け止められたことなどから利回りの低下は限定的となりました。

欧州債券市場は、中長期債を中心に利回りが上昇しました。

期の前半は、概ね一進一退の展開となりましたが、新型コロナウイルスのワクチン実用化による世界景気の回復期待が広がり、投資家のリスク回避姿勢が後退する場面で利回りは上昇しました。

期の半ばは、バイデン政権の景気対策効果に対する期待などから米国債利回りが上昇した影響で、ドイツの国債利回りも上昇しました。

期の後半は、欧米各国などでのワクチン接種の進展により、引き続き世界景気の回復期待が広がったことなどが、利回りを下支えしました。

新興国債券の利回りは、新型コロナウイルスのワクチンへの期待と主要先進国債券の利回りが上昇したことから、利回りは全般に上昇しました。

### (外国為替市場)

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和策の長期化観測が広がる中、米ドル売り・円買いが優勢となりました。その後、米国債利回りが上昇し、日米金利差の拡大が意識されたことから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、米国債利回りが上昇基調で推移し、日米金利差が拡大したことから、米ドルは対円で上昇しましたが、その後FRBによる金融緩和策の長期化が改めて意識されたことなどから、米ドル売り・円買いが一時優勢となる局面がみられました。

期の後半は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展による米国景気の回復期待が高まる中、米ドルは底堅い動きとなりました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、一進一退の動きとなりましたが、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばから後半にかけては、欧州主要国でワクチンの普及が加速し、景気の回復期待が広がったことなどから、ユーロは対円で上昇しましたが、2021年6月のFOMCがタカ派的と受け止められ、米ドルが対ユーロで上昇したことなどから、期末にかけてユーロは対円で下落しました。

新興国通貨は、対円で概ね上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(テンブルトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース)

「テンブルトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」を高位に組み入れました。また、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」受益証券への投資も行いました。

(投資対象ファンド：テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

<国・地域配分>

主な国・地域別配分については、韓国、インドネシア、ノルウェー、メキシコ、日本などへ投資しました。

<通貨別配分>

主な通貨別配分については、米ドル、韓国ウォン、円などを買建する一方で、ユーロなどを売建しました。

<信用格付別配分>

主な配分については、投資適格債を中心に、非投資適格債も一部組み入れました。

(2021年5月末時点)

(投資対象ファンド：日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定))

主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し信託財産の安定的な成長を目指して安定運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載していません。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 分配金

当作成期の収益分配は次表の通りです。第120期から第124期については、配当等収益を中心に分配を行いました。第125期につきましては、配当等収益に加え、基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定いたしました。

なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
	2020年12月22日～ 2021年1月20日	2021年1月21日～ 2021年2月22日	2021年2月23日～ 2021年3月22日	2021年3月23日～ 2021年4月20日	2021年4月21日～ 2021年5月20日	2021年5月21日～ 2021年6月21日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.244%	0.241%	0.239%	0.240%	0.240%	0.239%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	6,756	6,766	6,775	6,787	6,795	6,805

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

(テンプレトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース)

「テンプレトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」および「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」へ投資を行います。「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」への投資比率は高位を維持する方針です。

(投資対象ファンド：テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

○市場見通し(2021年5月末時点)

新型コロナウイルス向けワクチン接種の普及が世界各地に拡がることで、経済状況も引き続き回復に向かうと考えています。人々の活動が再開し始めることで、経済活動も2021年下半期に活発化すると期待しています。新型コロナウイルスの抑制状況は国によって異なるため景気回復の状況もまちまちになると思われますが、引き続きアジア諸国がグローバル経済の回復をけん引し、出遅れていた米国経済についても急回復が予想されます。

運用チームでは2021年の世界経済の成長率は6%程度となり、新興国市場の成長率が先進国市場を上回ると予想しています。世界の国内総生産(GDP)成長率は2022年、2023年と緩やかになる可能性が高いものの、



コロナ禍から景気が正常のペースに戻る中、世界経済の成長率は過去10年の平均もしくは平均を上回る水準で推移すると考えます。

### ○運用方針

基本戦略においては、ポートフォリオのデュレーションは短めに維持します。強固なファンダメンタルズを有し、魅力的なリスク調整後の利回りを有する国の現地通貨建ての債券や一部の先進国の債券を中心に選別的に保有します。なかでも韓国、インドネシアなどの現地通貨建て債券を保有しています。また、通貨では、韓国ウォン、円、人民元、ノルウェークローネ、米ドルなどをロングとし、ユーロをショートとしています。

新型コロナウイルス向けワクチンが普及することで経済活動の回復が期待されることから、特にアジア諸国について前向きな見通しを持っています。今後もマクロ経済のファンダメンタルズやESG要因を精査し、中長期的に投資妙味がある国の発掘に努めてまいります。

### (投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）)

今後も引き続き、主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年12月22日～2021年6月21日)

項 目	第120期～第125期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 55	% 0.535	(a) 信託報酬 = [作成期間の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(11)	(0.110)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(43)	(0.411)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.014)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.004	(b) その他費用 = $\frac{[\text{作成期間のその他費用}]}{[\text{作成期間の平均受益権口数}]}$
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.004)	その他費用 ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	55	0.539	
作成期間の平均基準価額は、10,368円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

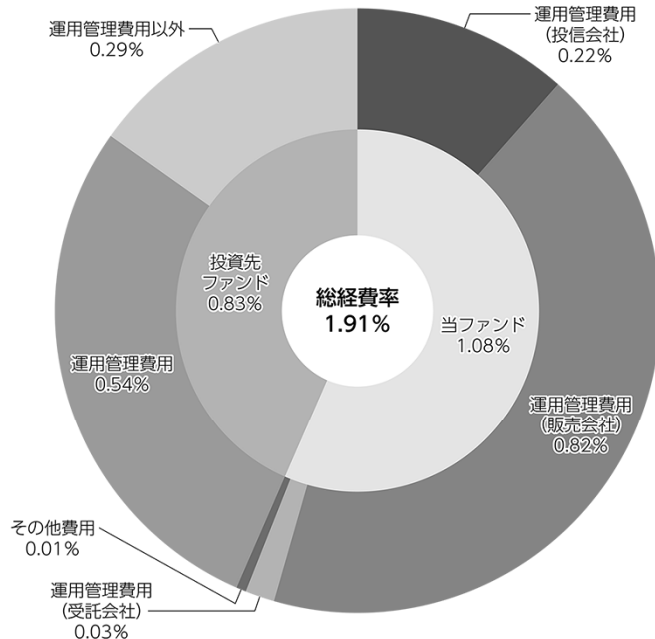
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.91
①当ファンドの費用の比率	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○売買及び取引の状況

(2020年12月22日～2021年6月21日)

### 投資信託証券

銘柄		第120期～第125期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY	口 4,067	千円 3,957	口 9,187	千円 9,000

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年12月22日～2021年6月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年12月22日～2021年6月21日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2021年6月21日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第119期末		第125期末	
		口数	金額	口数	評価額
	日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)	口 785,042	千円 785,042	口 827	% 0.6
	フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY	148,887	143,767	140,561	97.2
合計		933,929	928,809	141,388	97.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2021年6月21日現在)

項 目	第125期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	827	0.6
投資証券	140,561	96.9
コール・ローン等、その他	3,663	2.5
投資信託財産総額	145,051	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末	第125期末
	2021年1月20日現在	2021年2月22日現在	2021年3月22日現在	2021年4月20日現在	2021年5月20日現在	2021年6月21日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	147,878,077	149,848,927	151,340,971	150,554,730	144,731,200	145,051,503
コール・ローン等	3,021,392	2,835,354	2,319,613	2,859,946	4,278,814	3,662,879
投資信託受益証券(評価額)	826,570	826,570	826,727	827,041	826,963	827,041
投資証券(評価額)	144,030,115	146,187,003	148,194,631	146,867,743	139,625,423	140,561,583
(B) 負債	491,548	542,659	487,978	491,298	480,037	485,215
未払収益分配金	360,649	361,281	361,343	361,412	346,886	346,564
未払解約金	—	36,472	2,122	—	—	999
未払信託報酬	129,961	143,875	123,639	128,970	132,209	136,682
未払利息	8	8	6	7	11	10
その他未払費用	930	1,023	868	909	931	960
(C) 純資産総額(A-B)	147,386,529	149,306,268	150,852,993	150,063,432	144,251,163	144,566,288
元本	144,259,622	144,512,513	144,537,388	144,564,945	138,754,738	138,625,935
次期繰越損益金	3,126,907	4,793,755	6,315,605	5,498,487	5,496,425	5,940,353
(D) 受益権総口数	144,259,622口	144,512,513口	144,537,388口	144,564,945口	138,754,738口	138,625,935口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,217円	10,332円	10,437円	10,380円	10,396円	10,429円

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○損益の状況

項 目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
	2020年12月22日～ 2021年1月20日	2021年1月21日～ 2021年2月22日	2021年2月23日～ 2021年3月22日	2021年3月23日～ 2021年4月20日	2021年4月21日～ 2021年5月20日	2021年5月21日～ 2021年6月21日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,065,655	548,290	517,250	668,690	558,359	570,573
受取配当金	1,065,884	548,520	517,423	668,894	558,661	570,897
支払利息	△ 229	△ 230	△ 173	△ 204	△ 302	△ 324
(B) 有価証券売買損益	△ 283,792	1,602,458	1,489,499	△ 995,939	132,781	362,524
売買益	2	1,605,796	1,490,135	1,384	175,594	364,638
売買損	△ 283,794	△ 3,338	△ 636	△ 997,323	△ 42,813	△ 2,114
(C) 信託報酬等	△ 130,891	△ 144,898	△ 124,507	△ 129,879	△ 133,140	△ 137,642
(D) 当期損益金 (A + B + C)	650,972	2,005,850	1,882,242	△ 457,128	558,000	795,455
(E) 前期繰越損益金	△44,163,570	△43,627,051	△41,960,287	△40,415,382	△39,076,701	△38,801,883
(F) 追加信託差損益金	47,000,154	46,776,237	46,754,993	46,732,409	44,362,012	44,293,345
(配当等相当額)	( 80,864,978)	( 81,131,753)	( 81,157,422)	( 81,186,090)	( 78,129,255)	( 78,068,238)
(売買損益相当額)	(△33,864,824)	(△34,355,516)	(△34,402,429)	(△34,453,681)	(△33,767,243)	(△33,774,893)
(G) 計 (D + E + F)	3,487,556	5,155,036	6,676,948	5,859,899	5,843,311	6,286,917
(H) 収益分配金	△ 360,649	△ 361,281	△ 361,343	△ 361,412	△ 346,886	△ 346,564
次期繰越損益金 (G + H)	3,126,907	4,793,755	6,315,605	5,498,487	5,496,425	5,940,353
追加信託差損益金	47,000,154	46,776,237	46,754,993	46,732,409	44,362,012	44,293,345
(配当等相当額)	( 80,864,978)	( 81,131,753)	( 81,157,422)	( 81,186,090)	( 78,129,255)	( 78,068,238)
(売買損益相当額)	(△33,864,824)	(△34,355,516)	(△34,402,429)	(△34,453,681)	(△33,767,243)	(△33,774,893)
分配準備積立金	16,600,590	16,657,510	16,772,514	16,939,956	16,157,622	16,270,980
繰越損益金	△60,473,837	△58,639,992	△57,211,902	△58,173,878	△55,023,209	△54,623,972

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 第120期首元本額は144,172,482円、第120～125期中追加設定元本額は3,322,492円、第120～125期中一部解約元本額は8,869,039円です。  
 (2) 1口当たり純資産額は、第120期1.0217円、第121期1.0332円、第122期1.0437円、第123期1.0380円、第124期1.0396円、第125期1.0429円です。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

- (1) 第120期 (自2020年12月22日 至2021年1月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (934,764円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (80,864,978円) 及び分配準備積立金 (16,026,475円) より、分配対象収益は、97,826,217円 (1万口当たり6,781円) であり、うち360,649円 (1万口当たり25円) を分配金額としております。

- (2) 第121期 (自2021年1月21日 至2021年2月22日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (511,355円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (81,131,753円) 及び分配準備積立金 (16,507,436円) より、分配対象収益は、98,150,544円 (1万口当たり6,791円) であり、うち361,281円 (1万口当たり25円) を分配金額としております。

- (3) 第122期 (自2021年2月23日 至2021年3月22日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (485,152円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (81,157,422円) 及び分配準備積立金 (16,648,705円) より、分配対象収益は、98,291,279円 (1万口当たり6,800円) であり、うち361,343円 (1万口当たり25円) を分配金額としております。

- (4) 第123期 (自2021年3月23日 至2021年4月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (538,811円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (81,186,090円) 及び分配準備積立金 (16,762,557円) より、分配対象収益は、98,487,458円 (1万口当たり6,812円) であり、うち361,412円 (1万口当たり25円) を分配金額としております。

- (5) 第124期 (自2021年4月21日 至2021年5月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (450,795円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (78,129,255円) 及び分配準備積立金 (16,053,713円) より、分配対象収益は、94,633,763円 (1万口当たり6,820円) であり、うち346,886円 (1万口当たり25円) を分配金額としております。

- (6) 第125期 (自2021年5月21日 至2021年6月21日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (486,405円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (78,068,238円) 及び分配準備積立金 (16,131,139円) より、分配対象収益は、94,685,782円 (1万口当たり6,830円) であり、うち346,564円 (1万口当たり25円) を分配金額としております。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○分配金のお知らせ

	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
1万円当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## <お知らせ>

フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ株式会社は、2021年4月1日にレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社と合併し、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。

(2021年4月1日付)



## フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズー テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドの運用状況について

2020年6月30日決算

(計算期間：2019年7月1日～2020年6月30日)

テンプレトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース／為替ヘッジなしコース／毎月分配型・為替ヘッジなしコースの投資対象ファンドであるフランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドの決算は年1回（毎年6月末）です。したがって、直前の計算期末である2020年6月30日時点までの運用状況をお知らせします。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ルクセンブルク籍／外国投資法人／オープンエンド型／米ドル建て <sup>注1</sup>
投資目的	ファンドの主たる投資目的は、インカム・ゲイン、キャピタル・ゲインおよび通貨の利益を総合したトータル・リターンを最大化することです。
主な投資戦略	主として世界各国の政府または政府機関が発行する固定および変動利付債券等に投資することにより、上記の投資目的を達成することを目指します。投資制限の範囲内で社債に投資することができます。また、複数の国によって組織または援助された国際機関（国際復興開発銀行や欧州投資銀行など）が発行する債券にも投資することができます。投資目的のためにデリバティブ取引を行うことができます。デリバティブ取引には、スワップ（金利スワップ、クレジット・デフォルト・スワップ、トータル・リターン・スワップなど）、先渡しおよびクロス先渡し取引（フォワードおよびクロスフォワード）、先物取引（国債先物を含む）、オプションが含まれます。デリバティブ取引により、特定のイールドカーブ、デュレーション、通貨、信用（クレジット）のポジションが負（マイナス）となることがあります。他の証券、資産または通貨の値動きに価格が連動する証券や商品にも投資することができます。純資産総額の10%までの範囲内で債務不履行の状態にある債券を保有する場合があります。また、優先株式や債券から転換されたまたは交換された株式を保有することもあります。新興国、デリバティブ取引、非投資適格および債務不履行の状態にある債券への投資は、高いリスクを伴います。
主な投資制限	デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定しません。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク（米国） 管理会社：フランクリン・テンプレトン・インターナショナル・サービスズ・エス・イー・アール・エル（ルクセンブルク） （業務委託先：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・イー） 保管銀行：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・イー（ルクセンブルク）
費用 <sup>注2</sup>	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.55% 管理会社報酬：年0.20% 保管銀行報酬：年0.01%～年0.14%

(注1) 限定為替ヘッジコースは、投資対象ファンドである「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」の円建て外国投資証券「JPY限定為替ヘッジ・クラス」に投資します。  
為替ヘッジなしコースおよび毎月分配型・為替ヘッジなしコースは、投資対象ファンドである「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」の円建て外国投資証券「JPYクラス」に投資します。

(注2) ファンドが投資を行う「JPY限定為替ヘッジ・クラス」、「JPYクラス」のものです。  
この他に監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー  
テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド  
損益および純資産変動計算書  
2020年6月30日に終了した計算期間

(米ドル)

<b>期首純資産</b>	<b>15,245,568,826</b>
<b>収益</b>	
債券利息（税引後）	607,256,507
預金利息	3,271,648
その他収益	16,204,611
<b>収益合計</b>	<b>626,732,766</b>
<b>費用</b>	
運用報酬	89,413,325
管理会社報酬	28,466,482
保管銀行報酬	4,432,848
監査費用	44,250
その他費用	60,783,798
<b>費用合計</b>	<b>183,140,703</b>
関係法人からの費用戻入	(355,069)
<b>純費用合計</b>	<b>182,785,634</b>
<b>投資純収益</b>	<b>443,947,132</b>
投資有価証券売買に係る実現純損失	(624,960,783)
外国為替先渡契約に係る実現純利益	253,754,947
金利スワップ契約に係る実現純損失	(1,115,224,279)
オプション契約に係る実現純利益	262,734,278
外国為替取引に係る実現純損失	(71,419,066)
<b>当期実現損失</b>	<b>(851,167,771)</b>

投資未実現評価損	(669, 863, 586)
外国為替先渡契約未実現評価損	(67, 688, 239)
金利スワップ契約未実現評価益	560, 542, 925
オプション契約未実現評価損	(18, 082, 632)
外国為替取引未実現評価損	(426, 184)
キャピタルゲイン課税引当	902, 219
<b>運用による純資産の減少額</b>	<b>(1, 045, 783, 268)</b>
<b>元本異動等</b>	
追加設定額	2, 495, 315, 474
解約額	(5, 942, 336, 441)
追加設定・一部解約時の収益調整	(24, 355, 374)
	(3, 471, 376, 341)
分配金額	(736, 910, 720)
<b>元本異動による純資産の減少額</b>	<b>(4, 208, 287, 061)</b>
<b>期末純資産</b>	<b>9, 991, 498, 497</b>

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 組入資産の明細

2020年6月30日現在

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
	その他規制市場で取引される譲渡可能有価証券				
	公社債				
	国債証券および地方債証券				
687,552,020,000	Korea Treasury Bond, senior note, 1.375%, 12/10/29	KOR	KRW	573,382,426	5.74
76,420,100	Government of Mexico, senior note, M, 7.25%, 12/09/21	MEX	MXN	344,459,877	3.45
407,303,000,000	Korea Treasury Bond, senior note, 1.375%, 09/10/21	KOR	KRW	342,567,565	3.43
71,543,760	Government of Mexico, senior bond, M, 6.50%, 06/09/22	MEX	MXN	322,049,464	3.22
2,548,991,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 2.00%, 05/24/23	NOR	NOK	278,713,858	2.79
3,639,789,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR53, 8.25%, 07/15/21	IDN	IDR	263,849,761	2.64
1,804,081,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 3.00%, 03/14/24	NOR	NOK	206,680,127	2.07
2,310,430,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR46, 9.50%, 07/15/23	IDN	IDR	177,070,893	1.77
145,675,800,000	Korea Treasury Bond, senior note, 1.375%, 09/10/24	KOR	KRW	123,064,629	1.23
1,395,206,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR40, 11.00%, 09/15/25	IDN	IDR	116,079,604	1.16
7,795,000,000	Government of India, senior bond, 8.13%, 09/21/22	IND	INR	111,781,246	1.12
18,740,200	Government of Mexico, senior bond, M, 8.00%, 12/07/23	MEX	MXN	89,929,634	0.90
491,100	Letra Tesouro Nacional, Strip, 07/01/21	BRA	BRL	88,247,873	0.88
1,800,600,000	Inter-American Development Bank, senior bond, 7.50%, 12/05/24	SP	MXN	84,467,630	0.85
247,187,000,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 10.00%, 07/24/24	COL	COP	81,031,211	0.81
468,790,000	Government of Ghana, 19.00%, 11/02/26	GHA	GHS	75,135,712	0.75
463,990,000	Government of Ghana, senior bond, 19.75%, 03/15/32	GHA	GHS	74,972,328	0.75
554,271,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 1.75%, 03/13/25	NOR	NOK	61,519,260	0.62
6,448,124,218	Argentina Treasury Bond BONCER, Index Linked, 1.20%, 03/18/22	ARG	ARS	61,000,015	0.61
8,646,500	Government of Mexico, senior bond, M 20, 10.00%, 12/05/24	MEX	MXN	45,314,253	0.45
577,127,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR70, 8.375%, 03/15/24	IDN	IDR	43,137,762	0.43
139,388,600,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 6.00%, 04/28/28	COL	COP	37,774,352	0.38
4,392,251,785	Argentina Treasury Bond BONCER, Index Linked, 1.40%, 03/25/23	ARG	ARS	37,167,080	0.37
328,862,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 1.50%, 02/19/26	NOR	NOK	36,348,189	0.36
456,738,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR35, 12.90%, 06/15/22	IDN	IDR	36,324,373	0.36
4,910,100,000	Argentine Bonos del Tesoro, 18.20%, 10/03/21	ARG	ARS	35,676,702	0.36
4,392,251,788	Argentina Treasury Bond BONCER, Index Linked, 1.50%, 03/25/24	ARG	ARS	34,702,508	0.35
2,385,000,000	Government of India, senior note, 8.79%, 11/08/21	IND	INR	33,498,383	0.34
436,318,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR61, 7.00%, 05/15/22	IDN	IDR	31,357,957	0.31
7,882,350,000	Argentine Bonos del Tesoro, senior note, 15.50%, 10/17/26	ARG	ARS	28,343,446	0.28
156,260,000	Government of Ghana, 19.75%, 03/25/24	GHA	GHS	27,541,726	0.28
156,260,000	Government of Ghana, 18.75%, 01/24/22	GHA	GHS	27,390,557	0.28
1,789,000,000	Government of India, senior note, 8.15%, 06/11/22	IND	INR	25,373,324	0.25

フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
357,293,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR63, 5.625%, 05/15/23	IDN	IDR	24,783,665	0.25
4,715,255,000	Argentine Bonos del Tesoro, 16.00%, 10/17/23	ARG	ARS	23,659,935	0.24
4,836,660	Government of Mexico, senior bond, M, 6.75%, 03/09/23	MEX	MXN	22,144,817	0.22
69,274,000,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 7.00%, 05/04/22	COL	COP	19,713,933	0.20
59,093,700,000	Titulos de Tesoreria, B, 7.75%, 09/18/30	COL	COP	17,282,939	0.17
1,023,000,000	Government of India, senior note, 6.84%, 12/19/22	IND	INR	14,367,635	0.14
181,396,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR43, 10.25%, 07/15/22	IDN	IDR	13,841,077	0.14
132,795,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR39, 11.75%, 08/15/23	IDN	IDR	10,776,381	0.11
126,260,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR44, 10.00%, 09/15/24	IDN	IDR	10,008,681	0.10
367,385,000	Government of Argentina, FRN, 26.415%, 04/03/22 †	ARG	ARS	3,321,741	0.03
4,346,000,000	Government of Colombia, senior bond, 9.85%, 06/28/27	COL	COP	1,461,738	0.02
2,728,000,000	Government of Colombia, senior bond, 4.375%, 03/21/23	COL	COP	730,021	0.01
1,220,000	Government of Ghana, 24.75%, 07/19/21	GHA	GHS	224,624	0.00
250,000	Government of Ghana, 17.60%, 11/28/22	GHA	GHS	42,815	0.00
				4,118,313,727	41.22
1年以内に償還する証券					
6,116,400,000	Government of Sweden, 1047, 5.00%, 12/01/20	SWE	SEK	670,537,743	6.71
59,715,350,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 08/24/20	JPN	JPY	553,179,003	5.54
55,592,400,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 09/10/20	JPN	JPY	515,032,499	5.16
60,259,950,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 08/11/20	JPN	JPY	558,188,237	5.59
1,703,790	Letra Tesouro Nacional, Strip, 07/01/20	BRA	BRL	313,355,179	3.14
33,177,000,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 07/06/20	JPN	JPY	307,270,487	3.08
344,550,300,000	Korea Treasury Bond, senior bond, 4.25%, 06/10/21	KOR	KRW	297,137,147	2.97
2,692,046,000	Government of Norway, 144A, Reg S, 3.75%, 05/25/21	NOR	NOK	288,979,972	2.89
27,348,000,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 10/12/20	JPN	JPY	253,411,545	2.54
26,657,400,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 11/10/20	JPN	JPY	247,056,019	2.47
185,000,000	FHLB, 0.00%, 07/09/20	USA	USD	184,995,479	1.85
952,260	Letra Tesouro Nacional, Strip, 10/01/20	BRA	BRL	174,232,158	1.74
26,924,300	Government of Mexico, senior bond, M, 6.50%, 06/10/21	MEX	MXN	119,083,977	1.19
590,250	Nota do Tesouro Nacional, 10.00%, 01/01/21	BRA	BRL	112,701,782	1.13
9,938,600,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 07/10/20	JPN	JPY	92,048,050	0.92
7,671,000,000	Japan Treasury Discount Bill, 0.00%, 09/23/20	JPN	JPY	71,072,854	0.71
975,674,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR31, 11.00%, 11/15/20	IDN	IDR	70,157,595	0.70
448,362,000	Norway Treasury Bill, 144A, Reg S, 0.00%, 09/16/20	NOR	NOK	46,566,196	0.47
601,537,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR34, 12.80%, 06/15/21	IDN	IDR	45,344,220	0.45
250,200	Letra Tesouro Nacional, Strip, 04/01/21	BRA	BRL	45,288,004	0.45
33,000,000	FHLB, 0.00%, 07/10/20	USA	USD	32,999,092	0.33
25,000,000	FHLB, 0.00%, 07/07/20	USA	USD	24,999,542	0.25

# FRANKLIN TEMPLETON®

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額（米ドル）	対純資産 比率 （%）
4,223,398	Mexican Udibonos, Index Linked, 2.50%, 12/10/20	MEX	MXN	18,515,401	0.19
68,795,000,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 11.00%, 07/24/20	COL	COP	18,394,276	0.19
1,557,353,800	Letras de la Nacion Argentina con Ajuste por CER, Index Linked, 0.00%, 12/04/20	ARG	ARS	15,330,225	0.15
1,476,765,000	Argentina Treasury Bond BONGER, Index Linked, 1.10%, 04/17/21	ARG	ARS	14,375,062	0.14
11,000,000	FHLB, 0.00%, 07/02/20	USA	USD	10,999,966	0.11
17,991,000,000	Government of Colombia, senior bond, 7.75%, 04/14/21	COL	COP	4,917,401	0.05
4,920,000	Government of Ghana, 16.25%, 05/17/21	GHA	GHS	845,167	0.01
1,170,000	Government of Ghana, senior note, 16.50%, 03/22/21	GHA	GHS	202,015	0.00
870,000	Government of Ghana, 24.75%, 03/01/21	GHA	GHS	157,779	0.00
460,000	Government of Ghana, 24.50%, 06/21/21	GHA	GHS	84,447	0.00
320,000	Government of Ghana, senior note, 18.25%, 09/21/20	GHA	GHS	55,900	0.00
				5,107,514,419	51.12
	公社債計			9,225,828,146	92.34
	小計			9,225,828,146	92.34
	合計			9,225,828,146	92.34

† Floating Rates are indicated as at June 30, 2020

## 日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定） の運用状況について

（計算期間：2019年7月23日～2020年7月22日）

「テンプレート世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース」、「テンプレート世界債券ファンド為替ヘッジなしコース」、「テンプレート世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース」が組入れを行っている投資信託「日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）」の決算は、年1回（毎年7月22日）です。したがって、直前の計算期末である2020年7月22日時点までの運用状況をお知らせします。

### ●日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）

商品分類	追加型株式投資信託／バランス型	
信託期間	無期限	
運用方針	NOMURA-BPI短期をベンチマークとし、これを上回る投資成果をめざします。主としてマザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。	
主要投資対象	ベビーファンド	日本短期債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	
信託報酬率	年0.143%（税抜0.13%）	
関係法人	委託会社：三菱UFJ国際投信株式会社 受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社	

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			NOMURA-BPI短期		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期(2016年7月22日)	10,534	0	0.4	236.97	0.5	94.1	—	135
10期(2017年7月24日)	10,532	0	△0.0	235.85	△0.5	97.0	—	153
11期(2018年7月23日)	10,543	0	0.1	235.65	△0.1	97.4	—	160
12期(2019年7月22日)	10,546	0	0.0	235.76	0.0	98.1	—	157
13期(2020年7月22日)	10,518	0	△0.3	235.08	△0.3	95.1	—	135

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。



## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		NOMURA-BPI短期		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2019年 7月22日	10,546	—	235.76	—	98.1	—
7月末	10,548	0.0	235.77	0.0	98.4	—
8月末	10,553	0.1	236.09	0.1	92.3	—
9月末	10,553	0.1	236.12	0.2	93.9	—
10月末	10,548	0.0	235.73	△0.0	93.6	—
11月末	10,545	△0.0	235.50	△0.1	92.9	—
12月末	10,544	△0.0	235.27	△0.2	93.7	—
2020年 1月末	10,552	0.1	235.36	△0.2	93.3	—
2月末	10,565	0.2	235.68	△0.0	92.2	—
3月末	10,494	△0.5	235.09	△0.3	91.0	—
4月末	10,499	△0.4	235.26	△0.2	97.0	—
5月末	10,506	△0.4	235.16	△0.3	97.2	—
6月末	10,510	△0.3	235.07	△0.3	92.5	—
(期 末) 2020年 7月22日	10,518	△0.3	235.08	△0.3	95.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

2019年7月23日～2020年7月22日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	15	0.143	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(12)	(0.110)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	15	0.146	

期中の平均基準価額は、10,532円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○組入資産の明細

(2020年7月22日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本短期債券マザーファンド	千口 140,387	千口 121,025	千円 135,645

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日本短期債券マザーファンド	千円 135,645	% 99.7
コール・ローン等、その他	449	0.3
投資信託財産総額	136,094	100.0

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	136,094,371
コール・ローン等	447,299
日本短期債券マザーファンド(評価額)	135,645,452
未収入金	1,620
(B) 負債	110,068
未払信託報酬	107,963
その他未払費用	2,105
(C) 純資産総額(A - B)	135,984,303
元本	129,286,925
次期繰越損益金	6,697,378
(D) 受益権総口数	129,286,925口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,518円

### <注記事項>

- ①期首元本額 149,752,007円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 20,465,082円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0518円です。

### ②分配金の計算過程

項 目	2019年7月23日～ 2020年7月22日
費用控除後の配当等収益額	583,931円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	7,672,604円
分配準備積立金額	5,007,549円
当ファンドの分配対象収益額	13,264,084円
1万口当たり収益分配対象額	1,025円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

## ○損益の状況 (2019年7月23日～2020年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 34
受取利息	1
支払利息	△ 35
(B) 有価証券売買損益	△ 130,768
売買益	51,338
売買損	△ 182,106
(C) 信託報酬等	△ 224,985
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 355,787
(E) 前期繰越損益金	1,953,815
(F) 追加信託差損益金	5,099,350
(配当等相当額)	( 7,672,604)
(売買損益相当額)	(△2,573,254)
(G) 計(D + E + F)	6,697,378
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	6,697,378
追加信託差損益金	5,099,350
(配当等相当額)	( 7,672,604)
(売買損益相当額)	(△2,573,254)
分配準備積立金	5,591,480
繰越損益金	△3,993,452

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

# 日本短期債券マザーファンド

決算日2020年7月22日

（計算期間：2019年7月23日～2020年7月22日）

運用方針	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI短期をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。
委託会社	三菱UFJ国際投信株式会社

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		NOMURA-BPI短期		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
18期(2016年7月22日)	11,161	0.5	236.97	0.5	94.1	—	2,486
19期(2017年7月24日)	11,175	0.1	235.85	△0.5	97.3	—	2,281
20期(2018年7月23日)	11,202	0.2	235.65	△0.1	97.6	—	2,061
21期(2019年7月22日)	11,221	0.2	235.76	0.0	98.3	—	1,840
22期(2020年7月22日)	11,208	△0.1	235.08	△0.3	95.3	—	1,713

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		N O M U R A - B P I 短 期		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年7月22日	円 11,221	% —	235.76	% —	% 98.3	% —
7月末	11,224	0.0	235.77	0.0	98.7	—
8月末	11,231	0.1	236.09	0.1	92.5	—
9月末	11,232	0.1	236.12	0.2	94.1	—
10月末	11,228	0.1	235.73	△0.0	93.8	—
11月末	11,226	0.0	235.50	△0.1	93.1	—
12月末	11,226	0.0	235.27	△0.2	94.0	—
2020年1月末	11,236	0.1	235.36	△0.2	93.5	—
2月末	11,252	0.3	235.68	△0.0	92.5	—
3月末	11,177	△0.4	235.09	△0.3	91.2	—
4月末	11,184	△0.3	235.26	△0.2	97.3	—
5月末	11,193	△0.2	235.16	△0.3	97.5	—
6月末	11,198	△0.2	235.07	△0.3	92.7	—
(期 末) 2020年7月22日	11,208	△0.1	235.08	△0.3	95.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2019年7月23日～2020年7月22日)

該当事項はございません。

## ○ 組入資産の明細

(2020年7月22日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	130,000	131,458	7.7	—	4.1	3.5	—
特殊債券 (除く金融債)	100,000 ( 100,000)	100,024 ( 100,024)	5.8 ( 5.8)	— (—)	— (—)	— (—)	5.8 ( 5.8)
普通社債券	1,400,000 (1,400,000)	1,401,411 (1,401,411)	81.8 (81.8)	— (—)	— (—)	40.7 (40.7)	41.1 (41.1)
合 計	1,630,000 (1,500,000)	1,632,893 (1,501,435)	95.3 (87.6)	— (—)	4.1 (—)	44.2 (40.7)	46.9 (46.9)

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
		千 円	千 円	償 還 年 月 日
<b>国債証券</b>	%			
第135回利付国債 (5年)	0.1	20,000	20,132	2023/3/20
第138回利付国債 (5年)	0.1	10,000	10,087	2023/12/20
第143回利付国債 (5年)	0.1	30,000	30,322	2025/3/20
第342回利付国債 (10年)	0.1	70,000	70,915	2026/3/20
小 計		130,000	131,458	
<b>特殊債券(除く金融債)</b>				
第48回韓国産業銀行 (2018)	0.23	100,000	100,024	2021/9/3
小 計		100,000	100,024	
<b>普通社債券</b>				
第15回Zホールディングス	0.35	100,000	99,988	2023/6/9
第18回日立製作所	0.06	100,000	99,894	2023/3/10
第1回明治安田生命2019基金	0.29	100,000	98,959	2024/8/2
第28回三菱東京UFJ銀行 (劣後特約付)	1.56	100,000	100,718	2021/1/20
第23回三井住友銀行 (劣後特約付)	1.61	100,000	100,598	2020/12/17
第19回みずほ銀行 (劣後特約付)	1.67	100,000	102,250	2022/2/24
第22回芙蓉総合リース	0.04	100,000	99,595	2022/10/28
第16回東京センチュリーリース	0.2	100,000	100,003	2021/4/14
第5回イオンフィナンシャルサービス	0.23	100,000	99,965	2022/5/27
第75回アコム	0.309	100,000	100,025	2023/2/28
第74回三菱UFJリース	0.09	100,000	99,815	2023/1/23
第6回マラヤン・バンキング	0.224	100,000	99,397	2023/2/13
第17回シティグループ	2.04	100,000	100,257	2020/9/16
第8回ケーティー	0.3	100,000	99,947	2020/11/13
小 計		1,400,000	1,401,411	
合 計		1,630,000	1,632,893	

## ○投資信託財産の構成

(2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千 円	%
公社債	1,632,893	95.3
コール・ローン等、その他	80,784	4.7
投資信託財産総額	1,713,677	100.0



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年7月22日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,713,677,746
コール・ローン等	78,375,976
公社債(評価額)	1,632,893,000
未収利息	2,339,155
前払費用	69,615
(B) 負債	161,817
未払解約金	161,754
未払利息	63
(C) 純資産総額(A-B)	1,713,515,929
元本	1,528,811,692
次期繰越損益金	184,704,237
(D) 受益権総口数	1,528,811,692口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,208円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,640,019,714円  
 期中追加設定元本額 331,436,818円  
 期中一部解約元本額 442,644,840円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1208円です。

## ②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

三菱UFJ 積立ファンド（日本バランス型）	1,110,138,844円
三菱UFJ 国内バランス20	264,497,685円
日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）	121,025,564円
日本短期債券ファンドV A（適格機関投資家限定）	24,262,431円
三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド	8,887,168円
合計	1,528,811,692円

## ○損益の状況（2019年7月23日～2020年7月22日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	10,598,485
受取利息	10,637,194
支払利息	△ 38,709
(B) 有価証券売買損益	△ 12,260,700
売買益	1,325,100
売買損	△ 13,585,800
(C) 当期損益金(A+B)	△ 1,662,215
(D) 前期繰越損益金	200,290,788
(E) 追加信託差損益金	39,809,761
(F) 解約差損益金	△ 53,734,097
(G) 計(C+D+E+F)	184,704,237
次期繰越損益金(G)	184,704,237

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



# FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトンは、創業以来  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。  
創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr.は、

“With money and financial planning, prudence comes first.”

(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)

というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、  
アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、  
そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、  
ご投資家の皆様にとって、

フランクリン・テンプレトンの資産運用サービスに対する  
信頼と安心の象徴となっております。